

今回の特集の目指すものは「腸内細菌の存在が生体機能を維持するうえで重要な役割を果たしていること」を消化器臨床医に提示することであった。本特集は内容を3部構成にてまとめている。最初の部分は dysbiosis による消化器疾患の発症についてまとめたものであり、抗生物質投与によって誘引されるクロストリジウムディフィシル腸炎はその典型だが、そのほか、過敏性腸症候群(IBS)、炎症性腸疾患(IBD)、NSAID潰瘍との関連、肝疾患との関連などについて論及されている。IBS や慢性便秘においてもある菌種の増加、さらにこれらの菌種が産生する活性物質が症状発現に関与しているとの説は、新たな治療の可能性を示唆している。また、IBD は高脂肪食や肉食によって誘引される dysbiosis がその発症に関与しているとの見解も重要と思われる。また、NSAID 小腸潰瘍にも PPI 投与による dysbiosis が関与していることや、肝疾患 NAFLD についてもその関与が示唆されている。2 番目の部分に消化器以外の臓器への影響をまとめたが、大変に興味深く、肥満への関与についてはその原因菌や、dysbiosis に加担する食事内容について同定できれば、臨床上有用な治療方法が出てくることが期待できる。また、食物アレルギーやアレルギー疾患への腸内細菌の関与も重要である。*Helicobacter pylori* 除菌治療によって難治性蕁麻疹や特発性血小板減少性紫斑病が改善することが認められたが、その機序に腸内細菌の変化が関与するのではと想像してみた。3 番目のパートは治療についてであり、プロバイオティクスやプレバイオティクスの摂取、糞便移植法について概説していただいた。これからのデータ集積によって効果が証明されることを期待したい。

今回も特集編成にあたってわが国のこの領域の指導的立場にある先生方にご執筆いただき、大変に充実した特集が完成できたことをこの場を借りて心より感謝申し上げます。大変にありがとうございました。

(屋嘉比康治)

臨牀 消化器内科® Vol. 32 No. 10

©2017 年 8 月 20 日発行

定価(本体 2,750 円 + 税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2017, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791